

令和4年度 公共事業再評価調査

(区分) 国補 県単

1. 事業説明シート

事業名	林道事業 [森林管理道開設事業 (国補)]		事業箇所	山梨市三富上釜口	地区名	林道塚本山線	事業主体	山梨県
計画期間	当初計画	現計画	④特記事項 (関連事業概要等)					
	H13~H23	H13~R4	なし					
総事業費	1,170 百万円	1,267 百万円	⑤これまでの評価状況 (平成29年度再評価)					
①事業の概要			事業実施にあたっては、時間管理を徹底し、見直し案のとおり完成に努められたい。					
①事業目的及び効果			②事業位置図等					
<p>本路線は、山梨市 (旧三富村) の北部、広瀬湖の西部に位置する通称「塚本山」一帯の県有林の管理経営のための森林管理道である。森林基幹道 乾徳山線の支線であり、森林作業道の起点となる地域の路網整備上重要な路線である。</p> <p>利用区域内の森林はカラマツ、ヒノキ等の人工林が76%を占め、全てが林齢50年生以上の利用期を迎えているとともに、終点周辺には見本林として恩賜林の歴史を伝える樹齢約110年生の「塚本山のヒノキ林」があり、森林資源が特に充実している。</p> <p>本路線の開設によって、高性能林業機械とトラック運搬を組み合わせた効率的な作業システムによる木材の伐採搬出コストの削減などが図られることにより、森林資源の有効活用による林業の成長産業化の推進に寄与することができる。また、森林整備が推進されることにより、水源かん養、土砂流出防備等の森林が持つ公益的機能の発揮にも貢献することが期待される。</p>			<p>(事前評価未実施)</p> <p><input type="checkbox"/> 主要目標 ○森林整備の効率化</p> <p><input type="checkbox"/> 副次目標 -</p> <p><input type="checkbox"/> 副次効果 ○防火帯・延焼遮断帯の確保 ○リサイクルの推進</p>					
②事業概要			<p>森林管理道 計画延長 3,900m、幅員 4.0m</p> <p>利用区域面積 205ha、森林資源蓄積量 39,493m<sup>3</sup></p>					
③全体計画								
現計画	工事内容	令和3年度まで 林道開設 L=3,680m	令和4年度 (評価実施年度) 林道開設 L=220m	令和5年度以降				
	事業費	1,182 百万円	85 百万円					
変更計画	工事内容	林道開設 L=3,284m	林道開設 L=220m	林道開設 L=396m				
	事業費	1,182 百万円	85 百万円	130 百万円				

※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

## 2. 評価シート（1）

### （1）事業を巡る社会経済情勢等の変化

（今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）

#### ①地域・住民の意向状況

山梨市長からの意見書（R4.5.20）

利用区域内は、伐期を迎えるカラマツ、ヒノキ等の人工林が約8割を占め、今後、林道の整備により森林の維持、管理及び林業の生産性の向上を図る必要がある。またこのエリアは地元住民から山地災害を防止するための治山工事の要望があり、塚本山線の整備により治山施設整備も可能となることから、開設工事を引き続き進めていただくことを要望する。

#### ②産業・経済情勢

県内では、平成30年度に大月市で木質バイオマス発電所が、また、令和元年度には身延町で大型合板工場が稼働しており、本路線の開設によって、これらの県内需要に対する木材供給が可能となり、森林資源の有効活用による林業の成長産業化が期待される。

#### ③国等の方針

令和3年度に策定された森林・林業基本計画では、令和12年度の国産材供給目標量を令和元年度比135%にあたる42百万m<sup>3</sup>とし、目標達成に向け、路網と高性能林業機械を組み合わせた効率的な作業システムの構築等、林業の生産性の向上を推進することとしている。

#### ④上位計画・関連事業計画等

- ・山梨県総合計画（令和元～4年度）
- ・富士川上流地域森林計画（令和4～13年度）
- ・山梨県林内路網整備計画（令和2～11年度）
- ・第4次県有林管理計画（令和3～12年度）
- ・やまなし森林整備・林業成長産業化推進プラン（令和2～11年度）
- ・山梨県社会資本整備重点計画（令和2～9年度）

#### ⑤自然環境条件等

なし

#### ⑥その他

なし

### （2）評価時点の費用対効果分析

項目		着手時点	再評価時点（H29）	変更計画時点
総事業費		1,170 百万円	1,267 百万円	1,397 百万円
工期		H13～H23	H13～R3	H13～R6
評価基準年		H12	H29	R4
経済効率性	費用	— 百万円	1,741 百万円	2,198 百万円
	建設費	— 百万円	1,680 百万円	2,085 百万円
	維持管理費	— 百万円	61 百万円	113 百万円
	その他( )	— 百万円	— 百万円	— 百万円
	便益	— 百万円	1,910 百万円	2,407 百万円
	木材生産	— 百万円	13 百万円	42 百万円
	森林整備	— 百万円	1,675 百万円	2,140 百万円
	災害軽減	— 百万円	222 百万円	225 百万円
	その他※	— 百万円	— 百万円	— 百万円
	B/C	—	1.10	1.09

費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上

※その他は、なし

### （3）これまでの計画変更等の概要

（平成18年度再評価）

施工箇所の地形が急峻で、地質も脆弱な区間があり、計画どおりの事業進捗とならなかったため、計画期間の延長を行った。また、今後の開設単価の減少を勘案し、事業費を減額した。

（平成23年度再評価）

当初：平成13年度～平成23年度

変更：平成13年度～平成27年度

残延長1,478mを年平均370mずつ開設することにより4年間で整備し、平成27年度に事業を完了させることとした。

（平成29年度再評価）

当初：総事業費1,050百万円 事業期間H13～H27

変更：総事業費1,267百万円 事業期間H13～R3

施工区間内において大規模な法面崩落が発生したことから、対策工事等に要する事業費の増額と計画期間の変更を行った。

（平成30年度 変更内容）

当初：平成13年度～令和3年度

変更：平成13年度～令和4年度

平成29年度に実施した調査結果に基づき、施工規模などを再検討したところ、残延長に対して事業期間の不足が生じる見込みがあったことから、事業期間を1年延長した。

評価シート(2)

(4) 事業進捗状況及び見込み

①進捗率

下表のとおり。

②進捗率実績が計画と相違している理由

平成28年度に発生した法面崩落の調査をH29に行ったところ、対策範囲が広いことに加え、ロックボルト工や法砕工による法面対策が必要と判断されたことから、その対策に費用と期間を要したこと、R2開設中に降雨により法面崩落が拡大したことにより、事業の進捗に遅延が生じた。

③総事業費の変更内容

変更工種等	事業費増減	変更理由
ロックボルト工、簡易法砕工等	130 百万円 増	法面崩落に係る対策工事費の費用増加のため。
合計	130 百万円	

④事業期間の変更理由及び進捗予定

法面崩落に係る対策工事に4年を要し、予定していた開設延長に遅れが生じていることから、計画期間を2年延長し、令和6年度に完成を予定している。

⑤今後の事業執行における留意点

なし

(5) 環境負荷等への配慮

地形の変更を極力少なくする路線計画とし、切土・盛土法面については、緑化による保全が見込める箇所は在来種を配合した法面対策工による緑化を採用するなど、良好な自然環境の維持及び環境に配慮し、その維持に努める。

(6) コスト縮減の可能性

切土法長や路側構造物等が最小限となるよう、地形に沿って平面・縦断線形を計画する。

(7) 代替案立案の可能性

本路線の終点付近は特に資源が充実しており、大径材の輸送に対応するためには、幹線となる林道開設以外に方策はない。  
また、終点は緩傾斜地であり、車廻しを低コストで設置できることに加え、木材集積場としても利用することで木材生産の効率化が図られることから、計画どおりの開設が必要である。

(8) 所管部の今後の方針 継続 見直し継続 ・ その他 ( )

(理由)

本路線は、森林を適正に管理し木材の生産の基盤となる林内路網を構築する上で必要な林道であることから、変更計画のとおり令和6年度に完成を予定している。

○別表-進捗率(事業費ベース)

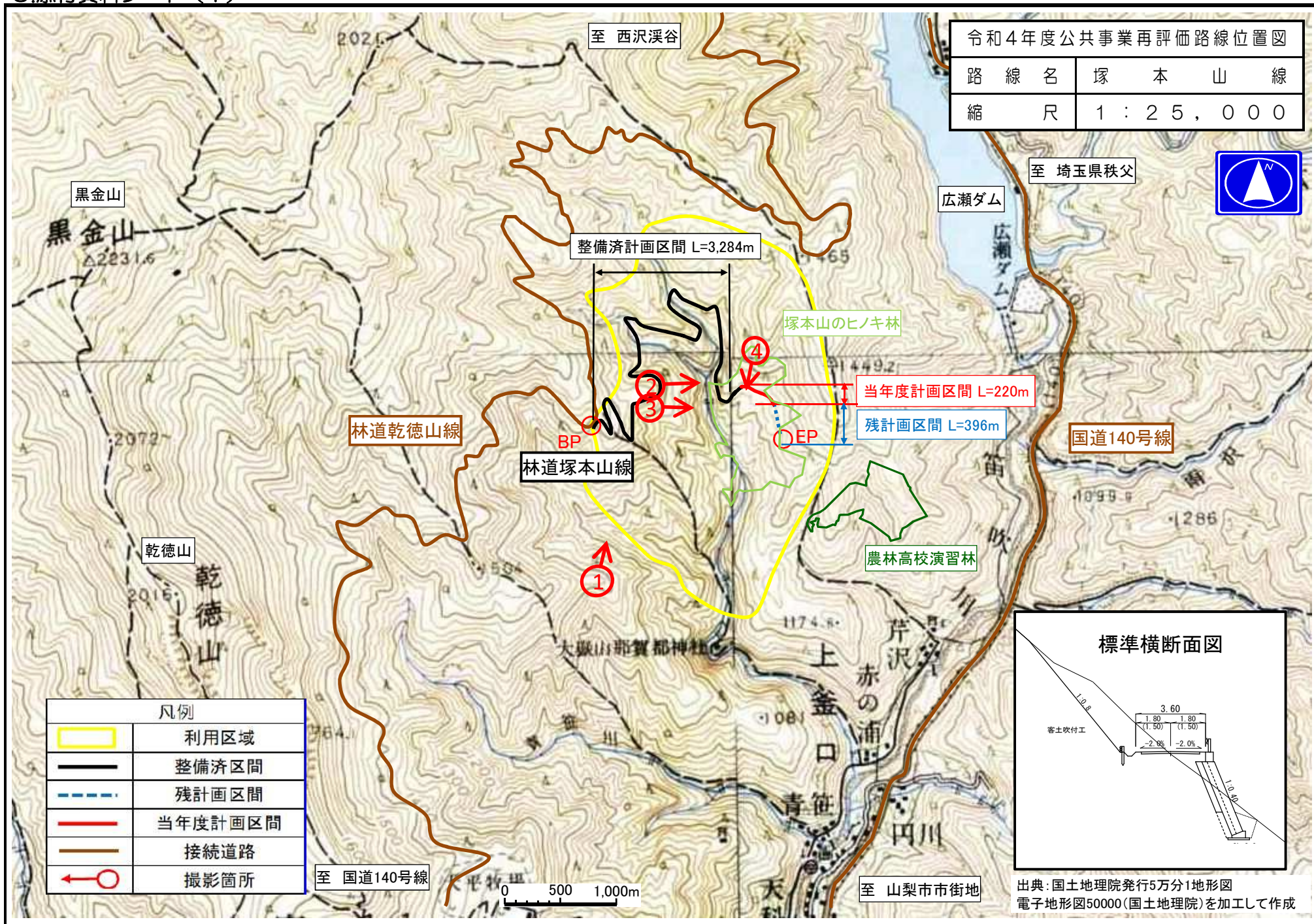
算出方法：【上段】現計画の計画事業費/総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費/総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費/総事業費×100 単位：%

	年度	*H23	H24	H25	H26	H27	H28	*H29	H30	R1	R2	R3	*R4	R5	R6
現	計画	50	55	61	66	68	68	69	75	82	87	93	100		
	実績	51	57	63	69	70	70	72	78	84	89	93	100		
変更計画													91	96	100

\*事業着手年度又は評価年度

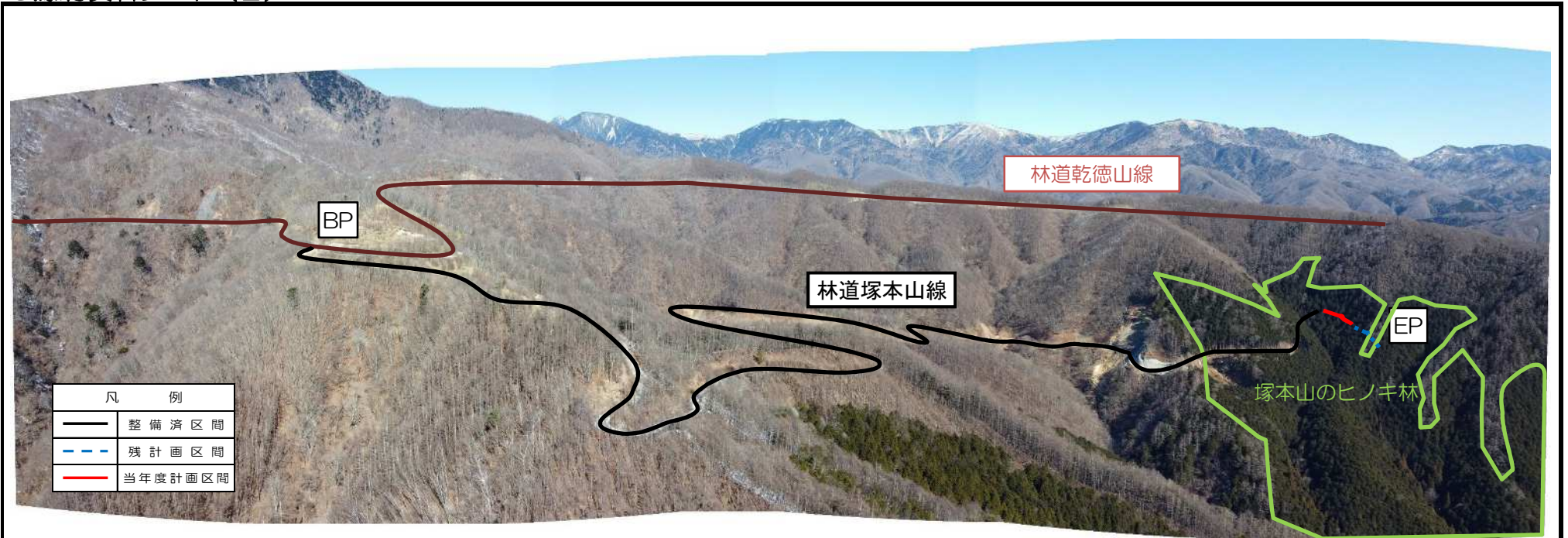
\*R4年度の実績は見込み

### 3. 添付資料シート (1)



出典: 国土地理院発行5万分1地形図  
電子地形図50000(国土地理院)を加工して作成

### 3. 添付資料シート（2）



① 計画地遠景



② 計画地崩落直後



③ 対策完了状況



③ 先線計画箇所の現地状況

3.添付資料シート(2-1)



ロックボルト工

簡易法砕工

③ 対策完了状況(H28崩落部)

### 3.添付資料シート(2-2)



対策完了状況 (R2崩落部)



令和2年8月26日降雨による崩落



令和2年9月8日降雨による崩落

#### 4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H13	0	全体計画調査設計	0.0
H14	70,000	林道開設工 L=330m	5.01%
H15	118,810	林道開設工 L=350m	13.51%
H16	50,000	林道開設工 L=140m	17.09%
H17	50,000	林道開設工 L=179m	20.67%
H18	51,000	林道開設工 L=190m	24.32%
H19	51,000	林道開設工 L=187m	27.97%
H20	51,000	林道開設工 L=200m	31.62%
H21	51,000	林道開設工 L=161m	35.27%
H22	101,000	林道開設工 L=348m	42.50%
H23	51,000	林道開設工 L=246m	46.15%
H24	75,000	林道開設工 L=240m	51.52%
H25	80,000	林道開設工 L=235m	57.25%
H26	71,364	林道開設工 L=156m	62.36%
H27	20,915	林道開設工 L=0m	63.85%
H28	-		63.85%
H29	15,992	法面調査 1式	65.00%
H30	77,647	法面对策工、林道開設工 L=12m	70.56%
R1	79,890	法面对策工、林道開設工 L=23m	76.27%
R2	67,072	林道開設工 L=115m	81.08%
R3	49,610	林道開設工 L=172m	84.63%
R4	84,700	林道開設工 L=220m	90.69%
R5	70,000	林道開設工 L=198m	95.70%
R6	60,000	林道開設工 L=198m	100.00%
合計	1,397,000	林道開設延長L=3, 900m	100.00%